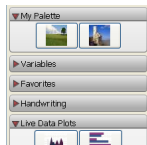


Maple 16 のスニペットパレット



Maple 16 で、カスタマイズ可能なスニペットパレットが導入されました。これらのパレットは Maple ウィンドウの左側や右側に表示でき、[標準のパレット](#)と似ていますが、必要な機能を実行するボタンを含むパレットを、ユーザーが自由に追加、削除、代入することができます。

パレットの作成後、表示メニューのパレットマネージャを使用して他のパレットを同じようにパレットの配置や表示を管理できます。

スニペットパレットに追加するボタンには、ユーザー独自の画像を使用できます。各ボタンを[タスク](#)に関連付けます。関連付けるタスクは、タスクブラウザから選択した標準のタスク ([ツール] メニュー) またはユーザーが独自に定義したタスクのどちらでも指定できます。

スニペットパレットの作成や管理に使用するためのコマンドは、[DocumentTools](#) パッケージに含まれています。

まず、パレットから使用したいタスクを選択します。タスクブラウザから選択するか、ユーザー定義のタスクを作成します。ユーザー定義タスクを作成する方法は 3 種類あります。

1. タスクのコンテンツを含む Maple ワークシートを作成します。[ツール] > [ヘルプデータベース] を選択し、[タスクとして保存...] を選択します。表示されるダイアログの指示に従います。
2. ワークシートのセクションをハイライトします。右クリックして、コンテキストメニューから [タスクの作成] を選択します。
3. タスクを定義するワークシートの XML を取得します。たとえば、[XMLTools](#) および [FileTools](#) パッケージを使用してから、[DocumentTools\[CreateTask \]](#) を使用してタスクに変換します。この方法は最も複雑ですが、プログラミングできるという利点があります。

```
with(DocumentTools)
[AddIcon, AddPalette,
AddPaletteEntry, CreateTask, Do,
GetDocumentProperty,
GetProperty, InsertContent,
InsertTask, RemovePalette,
RemovePaletteEntry, RemoveTask,
Retrieve, RunWorksheet,
SetDocumentProperty, SetProperty]
```

(1)

タスクを定義します。例では、関数といくつかのオプションを指定して、グラフを描画します。

$f =$ [] ~ [] をプロット

discont オプションを使用

ここで説明する例では、2 番目の方法を使用します。

マウスを使用して、右側にある (青い) ボックス全体を選択します。次に、選択した領域で右クリックし、[タスクの作成] を選択します。表示されるダイアログで、タスクの名前として My Task と指定し、[OK] をクリックします。

次に、パレットタスク用のアイコンを用意します。ここでは、Maple に用意されているサンプル画像の 1 つを使用します。他の Maple パレットを同じ大きさになるように画像のサイズを変更する必要があります。これには [ImageTools](#) パッケージを使用します。

[DocumentTools](#) パッケージの [AddIcon](#) コマンドは使用したい画像を含むファイル名を入力として使用します。右側に表示されているコードを実行してアイコンを作成します。

最後に、パレットを作成してアイコンを追加します。

[DocumentTools](#) パッケージの [AddPalette](#) コマンドには store と呼ばれるオプションがあります。このオプションの値は true または false です。このオプションが設定されないか、store=false に設定された場合、作成されたパレットは現在の Maple セッションのあいだのみ有効です。パレットを今後の Maple セッションでも使用できるようにするには、このオプションを store または store=true に設定します。

右側にあるコードを実行すると、新しいスニペットパレットがこの作業領域の左側にあるパレットドックの最上部に表示されます (パレットを表示するにはこのウィンドウの上部

グラフを描画

```
mytaskicon
:= ImageTools[Scale](ImageTools[
Read]( cat(kernelopts(datadir),
"/images/tree.jpg" ) ), 1 ..32, 1 ..32) :

iconfile
:=
cat(FileTools[TemporaryDirectory]( ),
kernelopts(dirsep), FileTools:-
TemporaryFilename( ) ) :

ImageTools[Write](iconfile, mytaskicon,
format = JPEG) :

DocumentTools[AddIcon]("My Icon", path
= iconfile);
```

```
DocumentTools[AddPalette]("My Palette") :

DocumentTools[AddPaletteEntry]("My Task",
palette = "My Palette", icon = "My Icon")
:
```

にある小さい右矢印 (▶) をクリックしなければなりません(場合があります)。

このパレットをテストするには、新しいドキュメントを開いて ([ファイル] > [新規作成]) [My Palette] パレットボタンをクリックします。